

## 総括

ポテト福祉会は、どんなに障害が重くても、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるような支援を目指し事業を推進して参りました。

医療的ケアが必要な障害児・者を積極的に受入れるとともに、医療、介護、福祉が連携して支える仕組みづくりに、安城市自立支援協議会を中心に行政、地域事業所等で取り組んでいましたが、新型コロナウイルス感染の影響でサービスの利用拡大とまではいきませんでした。

生活介護は昨年度に引き続き、定員規模を20人に変更し、介護収入を増やし、安定した事業運営が継続できるよう安城市に相談していた。

しかし、施設整備計画等の影響等については近隣市も理解を示していただけたようだが、施設整備補助の返還金（約3,400万円）支払いの目途が立たず、定員減には至らなかった。

地域生活支援拠点等の事業では、本年度も保護者の突然死に、直ぐに対応できた。今回は生活保護家庭であったため、安城市の社会福祉課・障害福祉課・相談・拠点等コーディネーターと協力し、本人の混乱を招くことなく進めることができた。障害のある人の地域での暮らしに安心感が持てるよう、「共生社会の実行に向けて」の取り組みについては、着手することができなかった。

法人全体として、2,616,071円の収益となった。しかし、運転資金として15,000,000円の借入と、常勤職員の退職後は、非常勤を配置基準に支障のない範囲で配置する等人件費も抑えた。また、生活介護では長期の入院も少なかった事と、グループホームの空室も解消し、知的障害者中心の2ヶ所のホームも週末利用できるように職員を配置した。利用実績が上がるようできる限りの努力を行った結果、昨年度に比べ介護報酬を増やせたものの、毎年、約1,000万円以上の借入は免れない。根本が解消された訳ではないので、継続して愛知県と安城市に相談していきます。

厳しい事業運営ではありますが、障害のある人もない人も、障害の重い人も軽い人もお互いを尊重し、助け合い、励まし合えるような機関となるよう取り組み、障害者が65歳以上になっても、使い慣れた事業所においてサービスを利用しやすくするため、関係機関と密接な情報共有の下、連携して事業継続できるように努力して参ります。

### 1. 社会福祉を目的とする事業

#### (1) 障害福祉サービス事業

- ① ポテトホーム（共同生活援助） 定員18名  
ホーム小川・ホームふるい・ホームいずみ

年間利用者数 5, 238人 (R1年度 4, 830人)  
月平均稼働日数 29.75日 (R1年度 29日)  
月平均稼働日数 14.68日 (R1年度 13.72日)

ホームの空室や入院等も発生したが、保護者の入院のため週末帰省ができず週末もホーム利用になったことに加え、新規入居者等が週末もホームで過ごされる方だったため、利用実績が上がった。高齢の親御さんの負担や心配を軽減する事もできた。

② ほっとみるく (短期入所：ホームいずみに併設) 定員3名

年間利用者数 34人 (R1年度 154人)  
月平均稼働日数 0.1人 (R1年度 12.9人)  
※1月緊急ショート受入 (保護者死亡・身内の葬儀)

新型コロナウイルス感染の影響も考え、受入を中止した月や途中でキャンセルする月もあり、実績は下がってしまった。

③ ポテトハウス 定員36名

ポテトハウス (生活介護：主たる事業所 定員30名)  
ぽてと<sup>2</sup> (生活介護：従たる事業所 定員6名)  
年間稼働日数 253日 (R1年度 254日)  
年間延利用者数 5, 834人 (R1年度 5, 542人)  
1日平均利用者数 23.06人 (R1年度 21.8人)

急な病気での欠席や通院等での欠席は発生したが、長期入院者が少なかった事と、短期間のみ利用日を増やされた方や、3月岡崎特別支援学校の卒業直後からの新規利用者が1名加わり、利用実績があがった。

④ 居宅介護ポテトハウス (居宅介護)

年間提供時間数 4, 059時間 (R1年度 3, 375時間)  
年間延利用者数 1, 825人 (R1年度 1, 646人)  
年間回数 4, 929回 (R1年度 4, 470回)

65歳に達した方のサービスは減少したが、残り6名のホーム入居者へのサービスが手厚くできたことと、ヘルパーを充足したため実績があがった。

## 2. 公益を目的とする事業

- (1) 日中一時支援事業（ポテトハウス） 年間利用者数 41人・月平均 3.4人

## 3. 法人経営の取り組み推進

### (1) 法人内研修

介護職員に必要な接遇マナーについて ※実施できず

### (2) 人事・労務管理などの向上への取り組み

有給休暇の取得の推進

### (3) 管理者等会議（毎月）開催

### (4) 安城市自立支援協議会（各担当者会等）への参加

はたらくグループ担当者会：大見真紀

くらしぐる一ぷ担当者会：山田裕子、黒川久美子

地域生活支援拠点等プロジェクトチーム：黒川久美子

医療的ケア児・者事業所会議：黒川久美子

### (5) 地域ネットワークの構築

福祉まつり実行委員会 4/17 11/20

ボランティア運営委員会 8/28

医療者会議 1/28

### (6) 特定福祉避難所機能の充実及び啓発

### (7) 重症心身障害児（者）在宅支援事業の取り組み（安城市補助事業）

### (8) 地域生活支援拠点等による緊急短期入所の受入れ

### (9) 関係団体懇話会への出席

## 4. 障害者福祉啓発事業

### (1) 陶芸まつり開催（10/17）

### (2) 二本木公民館まつり（2/15）

(3) ぬくもりワークスへの販売（3/24） ※利用者外出支援できないため  
毎年の恒例行事は、コロナウイルス感染拡大防止対策により中止となった。

## 5. 職員研修

### (1) 静的弛緩誘導法による学習会 ※中止

### (2) 虐待防止法研修会 9/9 講師：田原授産所 鎌田施設長

午前：職員(主に非常勤)15名参加

午後：他事業所3名・理事1名・職員10名参加

合計 29名

- (3) 朗務セミナー (Web) 黒川 9/28 10/19 11/16 12/10 1/13 1/22
- (4) SDGS 研修 (Web) 黒川 9/29
- (5) コロナ陽性者発生の際の訴訟リスクと労務トラブルリスク (Web) 黒川 12/8
- (6) ITC 活用研修会 (Web) 黒川 12/12
- (7) 福祉職員キャリアパス対応障害研修課程 (管理職員) 山野 12/17~18
- (8) サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者更新研修 (Web) 山田 3/4

## 6. 福祉・教育関係者育成事業

- (1) 介護実習受入れ (高浜高校)
  - ・ 7/21~8/7 3名 合計 3名
- (2) 保育実習受入れ (愛知学泉短期大学)
  - ・ 3/8~3/19 2名
  - ・ 3/22~4/2 3名 合計 5名
- (3) 特別支援学校実習
  - ・ 10/13~10/14 (岡崎特別支援学校) 2名
  - ・ 10/15~10/16 (岡崎特別支援学校) 2名 合計 4名
- (4) ボランティア受入れ
  - ・ 一般 2名 合計 2名
- (6) 見学者
  - ・ 福祉事業所関係 9名
  - ・ 障害者家族 3名
  - ・ 一般 1名 合計 13名

## 7. 生活支援事業

- (1) 私的契約による、時間外の支援 (レスパイトサービス)
  - ・ 延べ11人
- (2) 緊急時における宿泊支援 (地域生活支援事業)
  - ・ 実績なし
- (3) 自由契約による身体介護の支援 (レスパイト)
  - ・ 実績なし

## 8. 事業所の休日

- (1) 別途定めるポテト福祉会カレンダーのとおり 休日 112日
- (2) その他理事長が定めた日 実績なし